

パロキセチン錠「YD」を服用される患者さまへ

製品名	パロキセチン錠 5mg「YD」	パロキセチン錠 10mg「YD」	パロキセチン錠 20mg「YD」
形状 (表・裏)			

重大な注意

- ・このお薬を服用している患者で、**死んでしまいたい気持ちが強くなる**(自殺念慮、自殺企図)、**攻撃的になり他人や器物に危害を加える**(他害行為)、等の行為に及ぶことがあります。これらの症状が現れた場合は、すぐに主治医に相談してください。(ただし、自己判断で薬を中止しないでください)
- ・**18歳未満**の大うつ病性障害のある人がこの薬を飲んだ場合、**有効性が確認できなかった**との報告や、**死んでしまいたいという気持ちを強める**という報告があります。18歳未満の大うつ病性障害のある人は、医師と十分に相談してください。
- ・若年成人(18～30歳)で、特に大うつ病性障害の人がこの薬を使用した場合に、自殺する危険性が高くなるとの報告があります。

ご家族の方へ

ご家族の方は、患者の行動の変化やうつ症状などのもととある病気の症状が悪化する危険性について理解できるまで医師から十分に説明を受け、患者の状態の変化について観察し、変化がみられた場合には医師に連絡してください。

(裏面に続く⇒)

飲み続けることで[※]脳内の神経伝達をスムーズにして、抑うつ気分や不安を和らげる薬が処方されています。以下の点にご注意ください。

※飲みはじめは、すぐに効果は現れません。

(1) この薬は用法・用量を守って服用してください。

通常、1日1回夕食後に服用します。

1日10～20mgより開始し、必要に応じて10mgずつ増量し、維持量は1日20～40mg(最大)が処方されます。

薬の飲み方と量は、症状等にあわせて主治医が決めます。自己判断で薬の量を増やしたり減らしたり、あるいは中止したりしないでください。

薬を急に中止すると副作用があらわれることがあります。もしも誤って多く飲んでしまったときは主治医または薬剤師に相談してください。

(2) 症状がよくなっても自己判断で薬を中止しないでください。

うつ病は一度治ったようにみえても再発しやすいことがわかっています。また、薬を急に中止すると副作用があらわれることがあります。

再発や副作用を防ぐために、症状が改善しても主治医の指示通りに薬を服用してください。

(3) 以下の症状がみられたら主治医または薬剤師に相談してください。

- ・不安になる、あせる
- ・いらいらする、興奮しやすい
- ・発作的にパニック状態になる
- ・ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す
- ・敵意を持つ、攻撃的になる
- ・衝動的に行動する、じっとしていることができない